

身体的拘束の最小化に向けた 当院の取り組み

当院では、患者さんの尊厳を守り、安全で質の高い医療・ケアを提供するため、
身体的拘束を原則として行わないことを基本方針としています。

身体的拘束を行わずに安全に療養していただけるよう、患者さん一人ひとりの状態や生活の様子を多職種で検討し、環境の調整や見守り方法の工夫など、身体的拘束によらない方法を検討しています。

やむを得ず身体的拘束を行う場合にも、その必要性を継続して評価し、できるだけ早く解除できるよう取り組みます。

当院の主な取り組み

- 身体的拘束最小化チームによる定期的なラウンドと解除に向けた検討
- 身体的拘束を行わないためのケアや環境・用具の工夫
- 身体的拘束に関する職員研修
- 身体的拘束の実施状況の把握と定期的な評価

身体的拘束の実施状況（実施率の推移）

集計期間	身体的拘束実施率	
	全体	地域包括ケア病棟
令和7年4月～令和8年3月	1.41%	0.61%
令和8年4月～令和8年8月	0.77%	0.11%

※身体的拘束実施率 = 身体的拘束を実施した日数 ÷ 入院料算定日数

金沢市立病院長

拘束最小化対策チーム